

## 職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地													
北海道医薬専門学校	平成7年12月5日	飯田 知男	〒001-0024 札幌市北区北24条西6丁目2番10号 (電話) 011-716-1950													
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地													
学校法人美専学園	昭和62年12月4日	増田 涼平	〒001-0024 札幌市北区北24条西8丁目1番12号 (電話) 011-756-0777													
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士											
商業実務	職業実践専門課程	薬業学科(医薬品販売専攻)		平成6年文部科学省 告示第84号	-											
学科の目的	企業や薬局と連携し、実務において求められる専門的知識や技能を学生に習得させ、即戦力となる人材の育成を図る。															
認定年月日	平成26年3月31日															
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技									
2年	昼間	1850時間	1035時間	390時間	365時間	60時間	0時間									
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数										
80人		31人	0人	2人	28人	30人										
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価		■成績表: 有											
					■成績評価の基準・方法 評価の基準: 秀(90点以上)、優(89点から80点)、良(79点から70点)、可(69点から60点)、不可(60点未満)をもって評価し、可以上を合格、不可を不合格とする 評価の方法: 試験・論文・レポートその他の方法並びに通常点(提出物等)をすべて勘案する											
長期休み	■学年始:4月1日～4月6日 ■夏季:7月28日～8月17日 ■冬季:12月14日～1月11日 ■学年末:2月24日～3月31日		卒業・進級条件		各学年での全教科目を履修し、所定の単位を修得したものに認定会議の議を経る											
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 長期欠席者への指導等の対応、本人・保護者への連絡・相談		課外活動		■課外活動の種類 体育的行事、儀式的行事、札幌大標本館見学、普通応急手当講習、ドラッグストアへのインターンシップ ■サークル活動: 無											
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和3年度卒業生) ドラッグストア、スーパー・ホームセンター内の医薬品販売部門、調剤薬局、病院内の薬剤部等医療機関		主な学修成果(資格・検定等)※3		■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和4年度卒業者に関する令和5年5月1日時点の情報)											
	■就職指導内容 就職セミナー、就職ガイダンス、個別対応(履歴書作成、面接練習等) ■卒業者数 12 人 ■就職希望者数 12 人 ■就職者数 12 人 ■就職率 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他・進学者数: 0人 (令和4年度卒業者に関する 令和5年5月1日 時点の情報)				<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録販売者</td> <td>③</td> <td>12人</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>薬学検定3級</td> <td>③</td> <td>12人</td> <td>12人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)</p>			資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	登録販売者	③	12人	12人	薬学検定3級
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数													
登録販売者	③	12人	12人													
薬学検定3級	③	12人	12人													
中途退学の現状	■中途退学者 3名 ■中退率 2.1 % 令和4年4月1日時点において、在学者 26名(令和4年4月1日入学者を含む) 令和5年3月31日時点において、在学者 23名(令和5年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更 ■中退防止・中退者支援のための取組 日常のサポート・ケア															
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※学科特待、AO特待、適性証明特待、ファミリー特待、パブリック奨学、スカラシップ奨学 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載															
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)															
当該学科のホームページURL	URL: <a href="http://www.ivaku.ac.jp">http://www.ivaku.ac.jp</a>															

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針  
本校の各学科の分野におけるプロ養成に必要な基礎から実践まで一貫した教育を施すため、地域企業や外部人材を活用し、より実践的な教育課程を編成するため積極的に企業等と連携する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け  
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記  
最新の知識・技能・技術を学生に提供する目的で、関連企業・業界団体等からの有識者を選任し、会議にて状況報告、意見を提供し、教育課程の編成を見直す

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年11月1日現在

名前	所属	任期	種別
西尾 正道	独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター 名誉院長	平成27年4月1日～令和6年3月31日(9年)	①
佐藤 真一	見聞録 代表	平成27年4月1日～令和6年3月31日(9年)	③
品川 祐基典	医療法人社団木色の木もれ陽 肝臓クリニック 事務長	平成28年4月1日～令和6年3月31日(8年)	③
本間 仁	社会医療法人考仁会 札幌孝仁会記念病院 画像診断部 技師長	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	③
田巻 乃里子	独立行政法人国立病院機構 北海道医療センター附属札幌看護学校 教育主事	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年)	③
飯田 知男	北海道医薬専門学校 校長		
安田 格司	北海道医薬専門学校 校長代理、看護学科長		
照井 雅弥	北海道医薬専門学校 薬業学科長		
太田 雅子	北海道医薬専門学校 医療事務学科長		
武田 祐司	北海道医薬専門学校 診療放射線学科長		

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回、前期と後期に実施 (毎年7月、2月)

(開催日時)

第1回 令和5年7月5日 16:00～17:30

第2回 令和6年2月22日 16:00～17:00 (予定)

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

講義内容については、より自立できる社会人への基礎力を高めるものに重点をおいていく。

「薬業ゼミナール」では、登録販売者という命に関わる職業としての「倫理」をより多く取り入れ、総合的な力をつけるカリキュラム編成をすすめる。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学生に対し、薬業界が求める基礎的知識から最新の技能を教育するため、企業、薬局と緊密に連携し、授業、実習、演習を展開する。これにより即戦力となる医薬品販売員を育成する。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、および生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

- ①職業教育を実施するためのカリキュラムの検討、作成
- ②学生に対する授業・演習・実習の実施
- ③講義・演習・実習用教材の検討、作成
- ④講義・演習・実習の学生評価

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
販売員のための英会話	外国人への医薬品販売接客などの英会話を学ぶ	(有)ジャスト・イングリッシュ・プレス
医薬品販売実習	店舗にて医薬品などを販売するための基礎的な知識と経営に関して学ぶ	(株)ツルハ


3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針  
 ※研修等を教員に受講させることについて諸規定に定められていることを明記

教員は、学校法人美専学園就業規則第57条に則り、業務遂行能力や学生指導能力の向上、最新の業界情報収集を図るために研修を受けなければならない。教員の経験年数や担当学科・専攻等を考慮し、研修計画を策定し、研修を受ける機会を積極的に設ける。また必要に応じて学校内・学校外で情報を共有するため、研修報告書の開示や報告会等を実施する。

(2) 研修等の実績 : 新型コロナウイルス感染症拡大のため未実施

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「様々な薬用植物について」(北海道大学薬用植物園)

期間: 令和3年7月5日(月)

内容: 薬となる薬草栽培の植物園を見学し関連講義への助言をいただく

研修名「就職活動に向けての心構えと活動方法」(株マイナビ)

期間: 令和3年10月15日(金)

内容: 就職活動についての説明を受け、学生指導の助言をいただく

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「求められている・求めたい教育の間で」(北海道私立専修学校各種連合会)

期間: 令和3年8月3日(火) 対象: 薬業学科教員

内容: コロナ禍での学びを作り出す工夫を、子供と共に学ぶ必要性について解説を頂く

研修名: 「この子ちょっと変わっていると感じた時の支援法」(北海道私立専修学校各種連合会)

期間: 令和3年12月23日(木) 対象: 薬業学科教員

内容: 学生のキャリア教育と就職支援について、学生が実感できる実践例と効果について

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「薬物乱用を防ぐ」(連携企業等: 北警察署)

期間: 令和4年6月10日(金)(予定) 対象: 薬業学科教員

内容: 薬物乱用の現状、薬物による体へ影響について事例を挙げ説明を受ける

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「労働問題条件と労働問題」(連携企業等: 札幌司法書士会事務局)

期間: 令和4年5月13日(金) 対象: 薬業学科教員

内容: 労働法教育に関する支援対策として、労働法教育の在り方や効果的な講義について説明を受ける

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

自己評価と学校関係者評価を実施することで、学校の現状と課題を的確に具体的に把握して学校運営の改善、強化を目指すものである。また、同時に関係する業界、企業等との信頼関係を深めることを基本の方針としている。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	学校の教育理念・目的・人材育成は明確になっているか
(2) 学校運営	教育活動に関する情報公開がなされているか
(3) 教育活動	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか
(4) 学修成果	就職率の向上が図られているか
(5) 学生支援	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか
(6) 教育環境	防災に対する体制は整備されているか
(7) 学生の受入れ募集	学生募集活動は適性に行われているか
(8) 財務	財務について会計監査が適性に行われているか
(9) 法令等の遵守	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
(10) 社会貢献・地域貢献	
(11) 国際交流	留学生の受け入れ・派遣について戦略を持っておこなっているか

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員会で頂いたご意見を基に、特に評価の低い項目については、各学科と分掌で確認し課題解決に取り組んでいる。また、教育内容の見直しや臨地実習・就職先の新規開拓、施設・設備の充実、健康安全への配慮、職員の資質向上等を図ることで、時代のニーズに応える教育を常に提供できる学校運営の改善に努めている。今後も地域、業界団体等のご意見を拝聴し、学校運営に反映していきたいと考える。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和4年11月1日現在

名前	所属	任期	種別
河村和義	(株)アトリエK 会長	平成25年11月1日～令和6年3月31日(10年)	企業関係者
櫻井俊二	(有)I.B.DESIN	平成25年11月1日～令和6年3月31日(10年)	企業関係者
山森鉄夫	山森鉄夫司法書士事務所	平成25年11月1日～令和6年3月31日(10年)	企業有識者
細木実	(株)asclair メディカルフィット整骨院	平成30年11月1日～令和6年3月31日(6年)	企業関係者
根上和也	学校法人美専学園 北海道芸術デザイン専門学校		校長
飯田知男	学校法人美専学園 北海道医薬専門学校		校長
安田格司	学校法人美専学園 北海道医薬専門学校		校長代理
稲葉未紗	学校法人美専学園 北海道芸術デザイン専門学校		就職課主任
木村紀行	学校法人美専学園 北海道医薬専門学校		診療放射線科主任

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) )6月を目途にホームページで公表

URL: <https://www.iyaku.ac.jp> (北海道医薬専門学校)

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校の状況(課題や教育活動の取組)を広く理解してもらい、さらに企業等との信頼関係を深める。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	経営方針、学校の特色、人材育成の特色
(2) 各学科等の教育	カリキュラム、収容定員、学修成果
(3) 教職員	各教員の担当科目、教員の専門に関する情報
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職支援への取組状況、実習等の取組情報
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事への取組状況
(6) 学生の生活支援	学生支援への取組状況
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金の取扱
(8) 学校の財務	収支計算書
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果
(10) 国際連携の状況	留学生の受け入れ・派遣状況
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

URL: <https://www.iyaku.ac.jp> (北海道医薬専門学校)

## 授業科目等の概要

（職業実践専門課程 薬業学科）令和4年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			医薬品基礎	適正な医薬品の管理やチェックができることを目標とする。薬の基礎的な性質に基づき、臨床に使用される薬の性質を学ぶ。	1通	30	2	○			○			○	
○			医薬品・医薬部外品・化粧品基礎	主要な医薬品、医薬部外品、指定医薬部外品、防除用医薬部外品、エアゾール剤の商品知識や化粧品の商品知識を学びます。	1後	15	1	○			○				○
○			衛生学 I	公衆衛生の基本から、食品衛生と環境衛生を中心に、汚染物質や微生物、皮膚科学（アレルギー）について学ぶ。	1通	30	2	○			○				○
○			栄養化学	健康食品やサプリメントの役割、含まれる栄養素について学ぶ。更に医薬品の総合作用についても学ぶ。	1通	30	2	○			○				○
○			解剖生理学	人体の各名称、構造とその機能を学び、登録販売者に必要な知識を習得します。	1通	60	4	○			○				○
○			基礎化学	製剤に関連する基礎的な化学について学びます。	1通	30	2	○			○				○
○			基礎疾患 I	臨床でよく聞く基本的な疾患の概要や検査・治療法を理解する。さらに医療用語や略称を理解する。	1通	30	2	○			○				○
○			社会人基礎力	社会人に必要な能力の基礎を学びます。	1前	15	1	△	○		○				○
○			就職講座 I	就職活動に必要な自己分析・履歴書・面接について学びます。	1後	15	1	△		○	○			○	
○			生薬・漢方処方剤	漢方薬の構成成分である生薬の薬効、薬用部位などについて、基礎的な漢方製剤について学びます。	1後	15	1	○			○			○	
○			ジョブライティング I	就職活動時の履歴書に向け、バランスの取れた文字を書けるように演習を行います。	1通	30	2	△	○		○				○
○			登録販売者試験対策 I	過去問題を、解説を交え登録販売者試験に合格する力を身につけます。また本番を想定した模擬試験も実施します。	1後	60	4	○	△		○			○	

○		販売接客マナーⅠ	販売接客員としての電話対応、来客対応などや高齢者・身体障害者などへの対応の仕方を学びます。	1通	30	2	△		○	○		○					
○		ビジネスマナー	社会人としてのビジネスマナー（敬語、「報・連・相」、電話対応）、周囲の方への気遣い、心配りと医療人としてのマナーやビジネス能力検定3級に必要な知識を学びます。	1前	15	1	△		○	○							○
○		薬学検定対策	OTC医薬品、医薬部外品、サプリメントなどの効果効能、作用・副作用、使用上の注意などを学び、薬学検定3級に必要な知識を学びます。	1通	90	6	○	△		○							○
○		薬業ゼミナールⅠ	ドラッグストア、調剤薬局を中心に薬に関わる業界を理解し、課題をみつけまとめてゆく。	1通	60	4	△	○		○							○
○		薬剤学Ⅰ	医薬品を製剤化する際に品質、有効性、安全性や使い易さがどのように変化するかを学びます。	1通	60	4	○			○							○
○		薬事関連法規・制度Ⅰ	薬事法規制による医薬品の取り扱い範囲と、その基礎注意事項について学びます。	1通	45	3	○			○							○
○		薬理学	薬の適正使用とその効果、副作用と作用、様々な疾病に用いられている薬について基礎的な知識を学びます。	1通	30	2	○			○							○
○		ワード演習	パソコンの文書作成ソフトを用いて、文章入力や表作成、図形、画像の挿入についても学びます。	1通	60	4	△	○		○							○
○		キャリア講座Ⅰ	医薬業界などで活躍されている方から、必要な知識や求められる人材、社会人として必要な知識を学びます。	1通	30	2	○			○							○
	○	基礎英語	外国人の対応が増加するであろう医療業界にて、語学の基本である英語の基礎を学ぶ。進級後の販売英会話へ繋がります。	1通	30	2	△	○		○							○
	○	基礎学カトレニングⅠ	検定試験合格のために読解力・文章力・計算など苦手分野の学習をする。	1通	30	2	△	○		○							○
	○	調剤薬局事務Ⅰ②	保険医薬品の料金の計算を基本として、調剤報酬請求事務を学びます。	1後	30	2	○	△		○							○
	○	登録販売者試験対策フォローアップ講座Ⅰ	登録販売者受験に対して、弱点を強化・克服するため、集中的・徹底的に学習します。	1後	30	2	○	△		○							○
	○	ヘルスケア総論Ⅰ	最適なヘルスケアアドバイスができるよう相談者の生活指導や病気の予防・健康チェックができる知識と技術を学ぶ	1前	30	2	○			○							○
	○	ヘルスケア総合演習Ⅰ	様々なお客様に対応できる接客の仕方、商品陳列、ディスプレイ、POP制作や店舗内レイアウト等一連の業務を演習を通して学ぶ	1後	30	2	△		○		○	○					



○		医薬品販売実習	ドラッグストア、調剤薬局で実際に業務を体験し、プロとしての心構えを身につけます。	2通	80	3	△		○	○								○
	○	メディカルクラフト	医療機関の様々なシーンで活用される手作り工芸品・手芸品等季節感ある作品を作成する。また、医療業界で活かされる色彩と心理の関係性を制作を通して学ぶ。	2通	60	4	△	△	○	○								○
	○	メディカルアート	医療業界で活かされる色彩と心理の関係性を制作を通して学ぶ。	2通	60	4	△	△	○	○								○
	○	手話	手話の特徴を知り、コミュニケーション手段のひとつとすることができる。	2通	30	2	△	○		○								○
	○	韓国語販売会話	韓国人観光客へ接客対応できるよう、挨拶や簡単な接客の韓国語会話を学ぶ。	2通	30	2	△	○		○								○
	○	中国語販売会話	中国人観光客へ接客対応できるよう、挨拶や簡単な接客の中国語会話を学ぶ。	2通	30	2	△	○		○								○
	○	調剤薬局事務Ⅱ②	保険医薬品の料金の計算を基本として、調剤報酬請求事務を学ぶ。	2前	60	4	○	△		○								○
	○	登録販売者試験対策フォローアップ講座Ⅱ	登録販売者受験に対して、弱点を強化・克服するため、集中的・徹底的に学習する。	2前	60	4	○	△		○								○
	○	販売マーケティング	小売業の流通、仕入れ、顧客管理、販売促進等について学ぶ。	2通	60	4	○			○								○
	○	医薬品販売・ヘルス&ビューティ総合演習	特定保健用食品・健康食品の知識、商品知識、医薬品との相互作用について学びます。	2通	60	4	△		○	○								○
合計				46科目	1850位時間(119単位)													

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
各教科ごと8割以上の出席かつ前後期の定期試験にて可(60点)以上の成績	1学年の学期区分	前期	後期
	1学期の授業期間	18週	

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。